

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	国際連合大学事業への協力		担当部局庁	大臣官房国際課		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	(開始年度)平成元年度 (終了年度)平成22年度		担当課室	国際課		国際課長 池原 充洋		
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-2 国際協力の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際連合大学と我が国の大学、研究所、学界等との交流を図り、国連大学と我が国学術界との連携・協力を強化する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際連合大学理事等と我が国の学術関係者・政府関係者との間で、国際連合大学における各事業や、国際連合大学と我が国の大学との連携の方針などについて、意見交換を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	3	2	0.3			
		繰越し等	0	0	0			
		計	0	0	0			
	執行額	3	2	0.3				
	執行率(%)	2	1	0.1				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	国連大学と我が国学術界との連携・協力の強化が成果目標であり、定量的な数値を示せない。		成果実績	—	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国際連合大学と我が国の大学、研究所、学界等との交流を図るため、平成22年度は理事会の開催に合わせて大学視察・意見交換を実施。参加者数を指標とする。		活動実績 (当初見込み)	人	—	—	57	— (—)
単位当たりコスト	2,334(円/人) (H22年度実績)		算出根拠	単位あたりコスト=22年度の執行額(133,050円)÷22年度の参加者数(57人)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>予算を再検討し、本事業(「国際連合大学事業への協力」と「OECD事業への参加」を廃止の上統合し、平成23年度より「国際機関における事業への参加」とした。今後とも、予算を効率的に執行し、学術研究の振興に資するべく、我が国学術界関係者との連携・協力を強化してまいりたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止のうえ整理統合している。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国際連合大学事業への協力

A.文部科学省
0.1百万円

庁費

0.1百万円

}を含む

国際連合大学理事等と我が国の学術界関係者・政府関係者との間で、国際連合大学の現状と今後の方針について意見交換し、連携・協力を強化する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A. 文部科学省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	通訳費用、バス借り上げ代	0.1			
計		0.1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0